

これからの食料生産① (教科書 112～119 ページ)  
 氏名( )

①日本が食料を輸入している主な国を書きましょう。(教科書 112 ページウ)

②日本の食料生産量は、どのように変化していますか。(教科書 113 ページエ)

○米、野菜、魚・貝類、果物は  
 ○肉類、小麦は

③「食料自給率<sup>じきゅうりつ</sup>」とは何ですか。説明しましょう。(教科書 112 ページ)

国内で された食料のうち、国内で  
 されたものの割合。

④主な食料の自給率は、どのように変化していますか。(教科書 113 ページオ)

⑤食料の輸入が増えたのは、何が発達・進歩したからですか。(教科書 113 ページ)

⑥食料の輸入には、消費者と生産者にとって、どのような長所と短所があるでしょう  
 か。(教科書 114・115 ページ)

|     | 長所 | 短所 |
|-----|----|----|
| 消費者 |    |    |
| 生産者 |    |    |

⑦食料の輸入<sup>ゆにゅう</sup>は、世界の自然環境にどのようなえいきょうをあたえていますか。  
 (教科書 115 ページ)

## これからの食料生産② (教科書 112～119 ページ)

氏名( )

①食料を生産する人やとどける人たちは、生産や消費を増やすためにどのようなことに取り組んでいるのか調べましょう。また、それらの取り組みにはどのようなよさがあるかを考えて書きましょう。(教科書 116・117 ページア～キ)

|                                                | どんな取り組みですか | 取り組みのよさ |
|------------------------------------------------|------------|---------|
| ア<br>輸<br>出                                    |            |         |
| イ<br>野<br>菜<br>工<br>場                          |            |         |
| ウ<br>生<br>産<br>者                               |            |         |
| エ<br>ス<br>ー<br>パ<br>ー<br>マ<br>ー<br>ケ<br>ッ<br>ト |            |         |

|                                 |  |  |
|---------------------------------|--|--|
| 才<br>直<br>売<br>所                |  |  |
| 力<br>生<br>産<br>者                |  |  |
| キ<br>形<br>の<br>悪<br>い<br>野<br>菜 |  |  |

②国内の食料生産を<sup>はってん</sup>発展させるには、どうしていけばよいでしょうか。生産者と消費者の立場から考えましょう。(教科書 118・119 ページ)

|     |  |
|-----|--|
| 生産者 |  |
| 消費者 |  |

## 解答

)

ジウ)

中国、台湾、フィリピン、ベトナム、タイ、インド、  
オーストラリア、アメリカ、カナダ、ブラジル、チリ、  
ノルウェー

江)

○米、野菜、魚・貝類、果物は減っている。

○肉類、小麦はあまり変化していない。

じきゅうりつ  
大分県

**消費**

**生産**

ジョ)

**小麦以外は、どの食料も減っている。**



れいとう

うか。(教科書 114・115 ページ)

**長所**

## 短所

消費者

など

など

生産者

など

ゆ にゆう

(教科書 115 ページ)

ゆ しゅつ

に　さん　か　たん　そ

はいしゅつ

これからの食料生産②（教科書 112～119 ページ）
 解答
 氏名（
 ）

①食料を生産する人やとどける人たちは、生産や消費を増やすためにどのようなことに取り組んでいるのか調べましょう。また、それらの取り組みにはどのようなよさがあるかを考えて書きましょう。（教科書 116・117 ページア～キ）

|                                            | どんな取り組みですか                                              | 取り組みのよさ                                               |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| ア<br>輸<br>出                                | ぶりを外国に輸出している。                                           | （例）輸出が増えれば、そのぶん生産量も増える。                               |
| イ<br>野<br>菜<br>工<br>場                      | 室内で光や温度を調節して、計画的に野菜を生産している。                             | （例）農薬を使わず、安全性の高い野菜を生産できる。                             |
| ウ<br>生<br>産<br>者                           | <sup>にゅうぎゅう</sup> 乳 <sup>じょうたい</sup> 牛の健康状態をアプリで管理している。 | （例）作業が楽になり、働く人の不足を <sup>おぎな</sup> 補うことができる。           |
| エ<br>ス<br>ー<br>パ<br>ー<br>マ<br>ー<br>ケ<br>ット | スーパーマーケットが農家と <sup>けいやく</sup> 契約を結んで、野菜を生産してもらう。        | （例）質のよい作物を安く確実にとどけることができる。買い取り先の不安がないので、農家も安心して生産できる。 |

|                                 |                                  |                                                         |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------|
| オ<br>直<br>売<br>所                | 地元の農産物や、それらを材料にした加工品を売る。         | （例）食料を運ぶ距離が短くなり、フードマイレージが小さくなる。地元の農家の収入になる。             |
| カ<br>生<br>産<br>者                | 味や安全性、育て方にちがいをつけたブランドぶた肉を生産している。 | （例）味や安全性にすぐれているため、多くの消費者に選ばれる。                          |
| キ<br>形<br>の<br>悪<br>い<br>野<br>菜 | 見ばえが悪くても、味や安全性に問題がなければ売る。        | （例）食料をむだにしないですむ。むだにしないぶん、農家の収入を増やすことができる。安い値段で買うことができる。 |

②国内の食料生産を<sup>はってん</sup>発展させるには、どうしていけばよいでしょうか。生産者と消費者の立場から考えましょう。（教科書 118・119 ページ）

|             |              |
|-------------|--------------|
| 生<br>産<br>者 | 自分の考えを書きましょう |
| 消<br>費<br>者 | 自分の考えを書きましょう |